

東日本大震災支援対策本部第4回会議5月15日に開催されましたので、ご報告いたします。

1. JDDネット被災地視察団派遣報告と今後の活動予定

第二陣が5月7-13日に岩手～宮城県の視察を行ないました。臨床発達心理士会からは前川あさ美氏が参加し、今後3年間をめどに、被災地の支援者や会員のニーズをもとに、震災に関する研修会企画、講師派遣、資料・マニュアル作成などをおこなうことが提案されました。

宮城県石巻市の地域支援に関しては、現地の施設職員が中心に復興がすすんでいるため、今後は職員へのコンサルテーションや研修会の提供などの後方支援をおこなっていくことになりました。



ぴえるプロジェクト

2. 震災支援に関する資格更新研修会（緊急）

JDDによる視察報告とこれから必要とされる震災支援に関する基礎的知識などについて、以下の通りに資格更新研修会（全国）を開催します。被災地でのステイ型支援のあり方や、地元の地域での震災に関する心のケアや保護者への対応などについて学ぶ場としたいと思います。ふるってご参加下さい。

日程：2011年6月19日（日）10：30～16：30 1.5ポイント 於：お茶の水経税株式会社

3. 震災に関する公開研修会の企画（予定）

各地域の関係者向けに公開研修会を茨城県（9月、12月）をはじめ、東北地区や各地で実施していきます。

4. 東北支部総会

6月18日（土）に行われる東北支部主催研修会に堀江まゆみ氏と前川あさ美氏ら災害支援本部が講師として参加します。東北支部外の会員もぜひご参加ください。時間：13：45～17：00 於：東北大学大学院教育学科 206教室

5. 埼玉支部による双葉町避難者支援

傾聴ボランティアと遊びの広場を継続しています。引き続き、ご協力をお願いします。

遊び広場の予定：6月12日（日）10:00-14:00 旧騎西高校中庭（加須市）雨天：騎西コミュニティーセンター

6月25日（土）10:00-15:00 騎西コミュニティーセンター

◆◆◆◆視察報告◆◆◆◆

3月11日、家も人間関係も安心感も思い出の品も失った被災地の家族たち。わたしは、あれから二ヶ月経った7日から13日に、JDDネットのメンバーとして岩手と宮城に向かう機会をいただきました。被災地に足をいれると・・・山のような瓦礫。どれだけ多くの人の心に埋められない穴をあけたことだろうかと心痛みました。しかし、被災者でもあり支援者でもある地元の相談員たちと避難所などを回るうちに、そこには、すこしずつ回復してきたコミュニティの姿が見えてきたのです。まだまだ穴だらけで、ほつれも見られるネットワークでしたが、それを土台に、心の支援が地元の力で徐々に展開されていました。

心の支援は『人』がいればできるものではありません。人と人の信頼できる『つながり』があつてはじめて実現されるものです。被災地外のわたしたちにできることとしては、被災地で回復しつつあるネットワークを何よりも尊重しながら、地元支援者から学び、地元支援者の支援活動をエンパワメントしていくことが、まず第一にあげられると思われまふ。具体的には、コンサルテーションや研修開催などがあるでしょう。研修は、知識やスキルの提供、支援者が自分を大切にするための時間の保障となるだけでなく、寸断された地域のネットワークを築き直す場にもなることでしょう。また、未来を担う子どもたちを守るうとして必死な教師や保育士、療育スタッフや保護者らを支えるために、夏休みなどを利用して、おしゃべり広場や、セルフヘルプグループなどの開催といった側面サポートを行うこともできると思いました。

ある地元支援者は、被災地外の支援者に望むことは？という質問に、「忘れないでいてほしい」と答えました。毎日、使命感をもって活動しているかれらですが、心の中に「忘れられる不安」があるというのです。被災地外の支援者ができること、それは支援を継続していくことだともいえます。継続をどのようにしていくか、わたし達の知恵と心が求められていると思いました。

ある障害を持った子どもの保護者から「(阪神淡路大震災を経験した)関西から支援がきている。今度是我たちが日本全国にとんでいきたい。」という言葉をもらいました。別の保護者は「(支援を)してもらえばかりじゃ、いやよ。」と笑っていました。困難な状況の中で希望をもって未来に目を向けようとしている彼らの姿、主体的に人生に向き合おうとしている彼らの姿に、勇気を与えるつもりが、勇気を与えられて帰ってきました。

今後、わたしたちは被災者たちから多くのことを学び、エンパワメントされる機会をもつことでしょう。震災後には、被災者と支援者という二種類の存在が生まれるのではなく、また、被災地外と被災地の人が発生するのではなく、信頼できる「つながり」の中で力をあわせていく「わたしたち」が生じるのだということが深く理解できた一週間でした。(JDD第2陣視察より 前川あさ美)